

もったいない地球財布は
自分に必要なものの量を見極め、
再利用と地産地消をすすめます



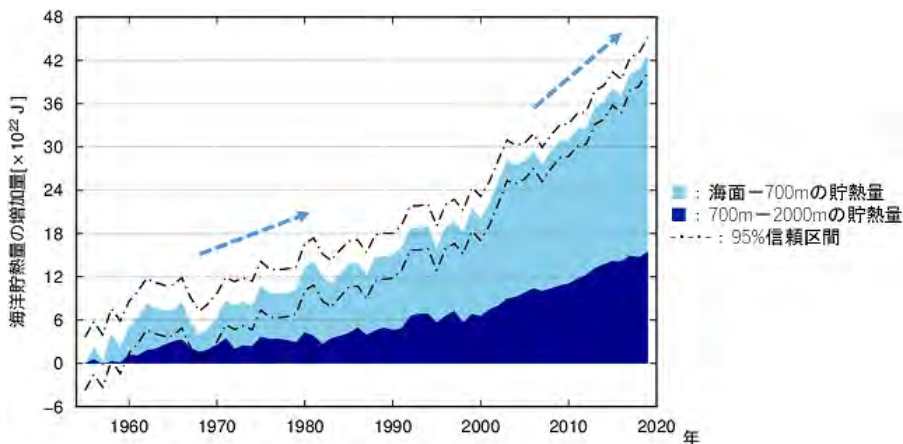
NEWS!

2020. 4月号

[発行] NPO 法人グリーンコンシューマー大阪ネットワーク ●〒565-0842 吹田市千里山東 1-14-26 ほぼエコ Café & Gallery NAZ 内
●郵便振替 00920-8-154437 ●年会費 1 口 2000 円(個人 1 口以上、学生半口以上、団体 3 口以上、賛助会員(会社)5 口以上)
●TEL & FAX: 06-7222-8005 ●携帯: 090-8989-5182(代表山口) ●http://greencon.g2.xrea.com/ ●greencon@g2.xrea.com

地球温暖化が進行、地球の海は熱い、加速的に。

気象庁は、地球温暖化の監視のため、海洋気象観測船により従来の深さ 700m から 2000m までに範囲を拡大した結果、貯熱量が過去最大に、さらに 1990 年代半ばから加速し、海水温の上昇は 2014 年から顕著になり昨年の年平均値はプラス 0.7℃となったことを 2 月に公表しました。新型コロナウイルス報道でマスクミでは大きく取り上げられていませんが、これからの災害の大規模化にもっと関心と対策を講じないと、地球上の生命の存続が崖っぷちであると危機感を持つ今日この頃です。



2020 年度総会を開催しました
3 月 28 日、人が集まるのを避けて、
委任状での参加方式で、千里山の関大
前の新事務所がある café「NAZ」にて
開催しました。コロナ非常事態宣言をう
け、月 1 回環境を主にテーマとした研修
会や地域と繋がる資源循環の実践をし
ていく準備をしていましたが、しばらく延
期し、コロナ収束のメドが立ち次第、順
次開始します。

各自治体ですすむ「気候非常事態宣言」採択

地球温暖化にストップをかけ 1.5℃に抑える「パリ協定」では 2050 年までに CO2 排出量を実質ゼロにと、
国会では超党派による議員連盟が発足し、各自治体では、9 月に最初に採択した長崎県壱岐市から宣言採決がは
じまりました。①全市民が、家庭、社会、産業各活動で、省エネルギーと消費活動において 3R+Refuse、ごみの発生
回避でプラスチックごみ削減②2050 年までに、地域資源に由来する再生可能エネルギーに完全移行③森林の適
正管理④実現に向け、政府、各自治体との連携。

大阪府内採決済みは、堺市、大阪市、河内長野市などこれからです。お住いの自治体に、採択の働きかけを。

生物多様性の破壊が新興感染症の爆発的蔓延へ

新型コロナウイルスの世界的な蔓延について、専門家は、人間の行為による経済のグローバル化が環境破壊
をすすめ、特に生物多様性は 75%が壊滅。絶滅寸前の動物との共生が出来ず、突如と都会のジャングルにきて
人間の体内に住むようになった。見えないウイルスとの戦いには、人との「分断」でなく「管理」。「対立」でなく
「協調」、国境越えて情報共有と発信をしていくこと。私たちが今後していくことは、生物多様性の破壊の減速と
自然共生社会の構築しかない。目の届く範囲での地産地消でバランスの取れた生き方をしていくしかない。